

化学系（学士課程）

アドミッション・ポリシー（入学者に求める能力と適性）

理学院学士課程では、幅広い教育と自由な発想に基づいた研究を通じて、社会や文化の発展に広く貢献することを目指しています。そのために次のような学生を求めます。

- ・自然界の仕組みについて深く知りたいという強い好奇心を持つ人
- ・教わるだけでなく、自ら主体的に学ぶことができる人
- ・自分の意見を持ち、他者と議論することができる人
- ・十分な学力と表現力を持つ

化学系は幅広い教育と自由な発想に基づいた研究を通じて、社会や文化の発展に広く貢献することを目指しています。そのために次のような学生を求めています。

- ・広く物質の関わるさまざまな現象について深く知りたいという強い好奇心を有している
- ・一方的に教わるだけでなく、自ら学び教員や友人らと議論することができる
- ・大学で学ぶに十分な学力を有している

アドミッション・ポリシー（入学者選抜方針）

【一般選抜（前期日程）】《全学院共通》

求める能力と適性を有する人材を選抜するために、高等学校の段階の学力確認を行うとともに、本学で学ぶために必要となる、数学、物理、化学および英語に関わる基礎学力ならびにこれを応用する力、論理的な思考力を評価する試験を行います。

【学校推薦型選抜】《理学院》

個別学力検査を免除し、大学入学共通テストの成績、出願書類及び調査書を総合的に評価して合格者を決定します。

化学系（学士課程）

カリキュラム・ポリシー（教育内容）

本系では、「ディプロマ・ポリシー（修得する能力）」を身につけるために、次のような内容の学修を行う。

A) 理工系の基礎的素養を学ぶ科目

化学の学習に必要な数学や安全に関して、講義や実習を通して学ぶ。

B) 化学の基礎的素養を学ぶ科目

化学の基礎となる物理化学・有機化学・無機化学・分析化学に関して、講義および演習を通じて学ぶ。

C) 化学の各専門分野を学ぶ科目

化学の研究を行うために必要なさまざまな専門領域に関して、講義および演習を通じて学ぶ

D) 実験・演習を通して化学を理解する科目

化学の基礎および専門領域に関する実験技術を習得し、さらに実験および演習を通して化学を深く理解する。

E) 創造性を育成する科目

実験・文献調査などの結果を考察・議論し、さらに自らの研究へと応用・展開する。

ディプロマ・ポリシー（修得する能力）

化学系では、次のような能力を修得することを目指す。

- ・体系的な化学関連科目の講義により育まれる基礎学力・論理的思考力
- ・実験や演習により育まれる化学に関する実践的能力
- ・最先端の化学の研究を通じた、自ら学び考える力と豊かな発想力・創造力
- ・自ら行う研究の成果を発表し、議論できるコミュニケーション力